

尾花毅 guitar
土井徳浩 clarinet
坂井紅介 contrabass

2026 03月21日(土)

開場 19:00 night live

開演 19:30

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



土井徳浩

中高、吹奏楽部で故 浜田伸明氏にクラリネットの手ほどきを受ける。高校卒業後、クラシックのクラリネットを故 内山洋、ジャズ・サクソフーンを吉永寿の各氏に師事。1997年、奨学金を得てボストンのパークリー音楽大学に留学。クラリネットを Harry Skoler, サクソフーンを George Garzone, Frank Tiberi の各氏に師事。2002年帰国。2003年ノナカ・サクソフーン・コンクールに於いてジャズ部門第二位を受賞。2005年よりジャズ・クラリネット奏者としての活動を開始。2011年、初リーダー作「Amalthea」をD-Musicaよりリリース。ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、ミュージカル、テレビ番組やアーティストのレコーディング等、多岐にわたるシーンで活動中。

尾花毅

幼少期をドイツで過ごしクラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代は自作曲を演奏するプログレッシブハードロックバンドにて都内近郊のライブハウスで活動する日々を過ごす。あるきっかけで耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。様々なブラジルの音楽から影響を受けてきたが、7弦ギターを手にしてからは特に古いサンバやショーロから多大な影響を受け現在に至る。近年はさらに低音側に一本弦を増やした8弦ギターを使用し低音域での表現の幅を拡大している。7弦8弦ギターの特徴を生かし幅広い音楽を通して身に着けたプレイスタイルでクラシック、JAZZ、ブラジルまで広範囲のユニットに参加する他、ブラジルから来日するミュージシャンのサポート等、数多くのライブをこなす日々を送っている。演奏以外では自らが製作したマイクロホンを販売するブランド [OBANA Microfone] を立ち上げ、音にこだわりをもつミュージシャンに愛用されている。また使用している7弦,8弦ギターは実の父親が製作した楽器である。

坂井紅介

ハंक・ジョーンズ、ジョー・ヘンダーソン、ヘレン・メリル、ミッシェル・ルグラン、エグベルト・ジスモンチ、スティーブ・ガッド、日野元彦、など世界のジャズ界をリードするミュージシャンと共演。幅広い音楽性で多くのアーティストに招かれ、国内外のユニットに参加。演奏の場は米国や欧州だけでなく、アジア、アフリカにも及ぶ。自己のグループで1993年より名古屋芸術創造センター、2000年にカザルスホールにおいてコンサート。作曲にも才を発揮し、映画、テレビ、舞踏、アーティストのCDに作編曲を提供するなど、活動範囲は広い。1997年5月、全曲オリジナルのリーダーアルバム「TRIPトリップ」をリリース。現在、自己のグループやソロベース活動の他、土岐英史、などのステージで活躍。横浜在住。